

舞鶴市からのPAZ圏内避難時（府内避難）の物資備蓄・供給体制

まいづるし

- 舞鶴市のPAZ圏内からの避難住民約650人の受入れ時には、京都府及び舞鶴市と災害時協定を締結している指定業者等からの流通備蓄と受入先自治体による備蓄のほか、京都府等に備蓄された物資（毛布等の生活用品）等を、京都府トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
- 京都府及び関係市町が備蓄している物資が不足する場合、京都府から、原子力災害対策本部に対し物資調達の要請を行う。

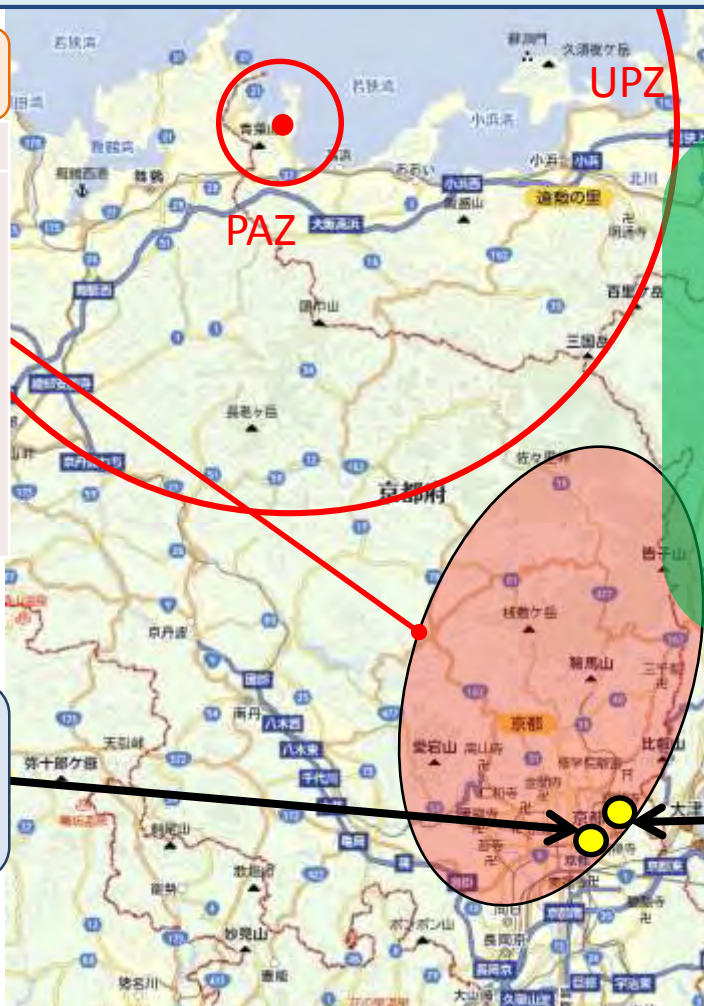
まいづるし

PAZ住民避難先 (府内避難の場合)

避難施設

京都市
東山区

- 元有濟小学校
- 元新道小学校
- 元清水小学校
- 元白川(元栗田)小学校
- 元月輪小学校
- 元今熊野小学校
- 京都市東山青少年活動センター
- 東山地域体育館
- 陶工高等技術専門学校
- 京都華頂大学・同短期大学
- 日吉ヶ丘高等学校
- 華頂女子高等学校



	協定の種類	内容
京都府	災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定ほか2協定	災害時における応急対策物資供給等
舞鶴市	災害時における物資の供給応援に関する協定ほか3協定	災害時における応急生活物資等の供給

避難元自治体による流通備蓄

- ・食料品、飲料水、日用品、衣料品
- ・その他舞鶴市が指定する物資

京都市備蓄

- ・食料等：294,100食
- ・毛布：74,278枚
- ・飲料水：75000リットル
- ・トイレ：2,236基

等

京都府京都倉庫備蓄

- ・食料：26,294食
- ・毛布：4,082枚
- ・子ども用おむつ：13,020枚
- ・簡易トイレ：668セット

等

(※) 物資備蓄数は概数

舞鶴市からのPAZ圏内避難時（府外避難）の物資備蓄・供給体制

- 舞鶴市のPAZ圏内からの避難住民約650人の受入れ時には、神戸市の支援のほか、京都府の調達した物資、日本赤十字社兵庫県支部に備蓄された物資（毛布等の生活用品）等を、京都府トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
- 広域避難の際の避難所の運営に必要な物資については、避難元・避難先が協力して確保をする。また、原子力事故による単独災害時には、物資の流通網は健全なことが想定されるため、避難先の民間事業者等から食料品をはじめ生活用品等の調達を積極的に行う。
- 物資が不足する場合には、京都府から、原子力災害対策本部に対し物資調達の要請を行う。



PAZ住民避難先 (府外避難の場合)

避難施設

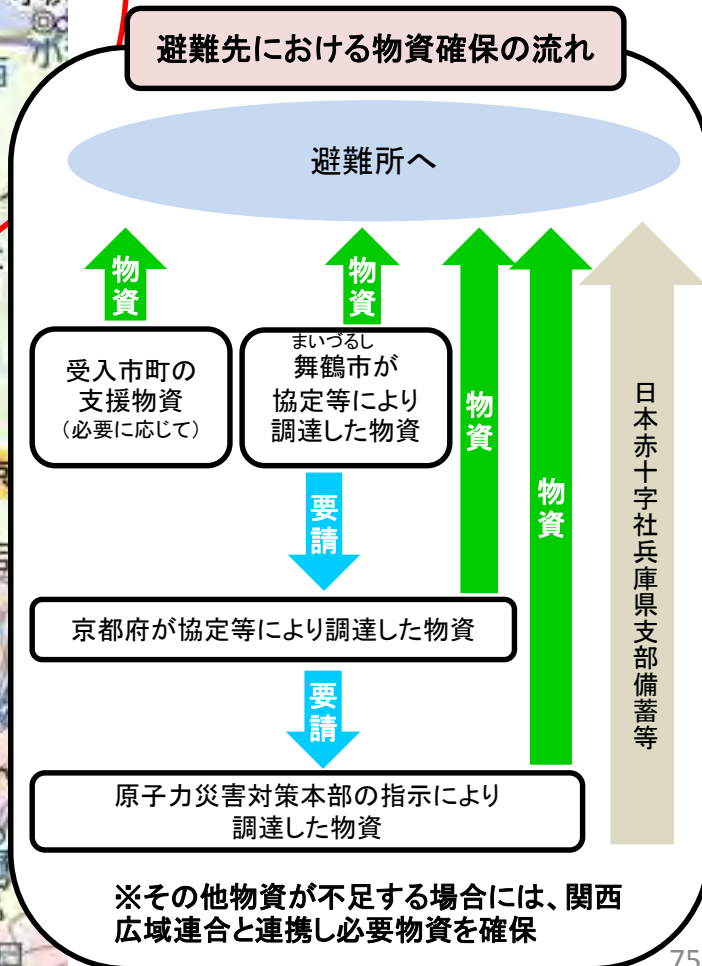
兵庫県
神戸市 田園スポーツ公園
他1施設

日本赤十字社兵庫県支部備蓄

- ・毛布:4,502枚
- ・緊急セット(携帯ラジオ、懐中電灯等):2,675セット
- ・安眠セット(マット・枕等) 等

(※)物資備蓄数は概数

避難先における物資確保の流れ



※その他物資が不足する場合には、関西広域連合と連携し必要物資を確保

物資集積拠点・一時集結拠点

- 物資供給の迅速性を高めるため、国からの物資を集積する物資集積拠点を設定。物資集積拠点で、地域のニーズ等を踏まえて必要な食糧や物資を分別し、住民の避難先や一時集結拠点に輸送。
- 一時集結拠点では、物資集積拠点から搬送された物資をもとに、地域住民の状況を踏まえて物資を供給。あわせて、地域住民のニーズ等を踏まえた物資供給に関する各種要請を行う。
- 物資集積拠点・一時集結拠点は、防災業務関係者への災害関係情報の提供拠点としても活用。



物資集積拠点

(福井空港、丹波自然運動公園、三木総合防災公園、徳島県立防災センター)

- ・避難・屋内退避住民に対する政府の供給食料・物資の集積
- ・ボランティア団体等による食糧・物資の集積
- ・オフサイト対応で必要となる放射線防護資機材
- ・追加で必要となる緊急時モニタリング資機材及び放射線防護資機材
- ・避難住民への食糧・物資の供給
- ・災害関係情報(道路情報、緊急時モニタリング情報)等

一時集結拠点

(原子力災害対策重点区域外の3拠点)

- ・屋内退避住民への食糧
- ・物資の供給
- ・緊急時モニタリング資機材及び放射線防護資機材の供給
- ・地域住民のニーズ等を踏まえた物資供給に関する各種要請
- ・原子力災害対策重点地域への入域に必要な情報提供等
- ・災害関係情報(道路情報、緊急時モニタリング情報)等